

上映ボランティア・スタッフ大募集！

NPO法人コミュニティシネマ松本CINEMAセレクトは、「まつもとが、もっと映画の街になるために」を合い言葉に、広く市民に対して、映画・映像文化を享受する機会を提供し、地域における豊かな映画環境を創造することを目指し、映画を通じた地域の活性化、まちづくりに寄与することを目的として活動しています。

現在、セレクトの活動は、ボランティア・スタッフのみで成り立っています。まちなかで映画が観たい、まつもとに映画をずっと残していきたい、とにかく映画がすぎ、そんな、いろいろな想いを持って、それぞれのペースで活動しています。

あんまり時間がないけど、チラシを配るくらいならできるよ、という方。うちの店にチラシを置いてあげるよ、という方、あんまり映画くわしくないんだけど、セレクトの活動に参加してみたい、という方、あなたの力を、貸してください。——まつもとが、もっと映画の街になるために。

してみたいことを



上映会の企画をしてみたい！ 観たい映画を上映したい！ という方は特に大歓迎！

上映会の企画から、宣伝、運営まで、手がけてみませんか？

もちろん、すべてでなくてもかまいません。

スキルを活かして



会計事務ができる方、イラストが得意な方などなども、大歓迎です。

特に**イラストレーターが使える方、急募中**です。あなたのスキルが必要です！

チラシやシネマガイド、ウェブサイトのデザイン・運営をしてみませんか？

自分なりの方法で



現在、月に1～2回の会議・作業があり、チラシ印刷・配布や上映会当日の受付などが主な仕事内容です。

とはいえ、いろいろな関わり方があられると思っています。あなたなりの方法をさがしてもらえませんか？

スタッフの声

今年スタッフに加わった西村晃幸さん(信州大学大学院生)、原和代さん(販売員)にインタビューしました。

Q. スタッフとしてセレクトの活動に参加することになったきっかけはなんですか？

西村: セレクトの活動自体を知ったのは、松本でスクリーンで見るとは無理かなと思っていた塚本晋也監督の『HAZE』の上映会でした。で、当日、上映会場で、スタッフの活動を見ていたら楽しそうだったので、自分も参加してみようかなあと思いました。

原: 自分で企画して観たい映画を観たいと思ったからです。高校生の時から中劇にセレクトの映画を観にっていて、セレクトの映画が好きだったし、映画に関わる仕事に憧れてもいました。今年の4月に実家(松本)に帰ってきてから、やっぱりセレクトが気になって、映画を好きな友達と勇気を出して参加することにしました。

Q. スタッフとして参加することになって良かったことや、スタッフとしての「やりがい」はなんですか？

西村: 今はとにかく映画を見がてら上映会の準備などをするのが楽しいですね。「やりがい」と訊かれると難しいですが、とにかくアルバイトとは違って、ボランティアに支えられた団体であるので、主体的に活動できることだと思います。

新人さんでも「この映画の上映を一からしたい」という強い思いとやる気さえあれば、配給会社との交渉から上映までの流れすべてに関わることが出来ます。もちろん、すべてに関わらなければいけないということではなくて、ぼく自身、上映会当日の準備や上映作品の宣伝等の仕事が主です。

あと参加してよかったことは、自分の知らない、気づかないでいた映画に出会えることや、様々な年齢層・職業のスタッフの方々との出会い、楽しく活動できることですね。

原: 自分で選んでは観ないような映画の存在を知ることができて、観る映画のジャンルを広げることができました。それに、映画に詳しい人達に囲まれているので勉強にもなります。

「やりがい」はまだ「これ」と言えるものはないのですが、自分の憧れていた上映や配給の仕事に関わりながらいろいろ勉強して、これから見つけていきたいです。